

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立東山東小学校
校長氏名	山下 真二
作成日	令和 2年 2月 21日

1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域に開かれた学校
指標	・県学習到達度調査で県平均を上回る ・わかる授業、児童が主体的に取り組む(児童80%)	・学校が楽しい(児童90%) ・いじめ解消率100%	・新体力テストで全国平均を上回る ・早寝早起き朝ごはん90%	・地域とかかわった実践を全学級で実践 ・学校の様子がよく伝わった(保護者80%)
重点目標	◎基礎・基本の定着 ◎子ども主体の授業の推進 ○学習習慣の確立	◎互いを認め合う仲間づくり ◎体験活動の充実 ○道徳教育の充実	◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成	◎家庭・地域連携の充実 ◎地域人材の活用推進 ○積極的な情報の発信
取組の状況(D)	・「和歌山の授業 基礎・基本3カ条」を全教員に徹底させ、授業の充実を図った。 ・市の研究指定を受け、全員が研究授業を行い協議会を実施。教科等別研修会では授業公開を行い広く外からの意見も取り入れ、各人の授業力アップを図った。 ・学習の手引きの活用とともに、中学年以上では自主学習ノートを活用し、主体的に学習に取り組む習慣を身に付けさせた。 ・難問クイズ等で考える楽しさを味わわせる場を設けた。	・保護者対象に「人権講演会」を実施して、人権意識に対する啓発を行った。 ・集会活動や遠足などで縦割り活動を活用し、リーダーシップや思いやりの心を養った。 ・特別な教科道徳について「考える道徳」を心掛けた。	・放課後バスケの練習を行い、子ども達にスポーツの楽しさを味わせた。 ・基本的な運動の取り組み方について学習し、基礎運動力の向上を図った。 ・「フッ化物洗口」を継続して行い、児童の歯の健康の増進を図った。	・学校・学年だよりを通し、また、児童の活動の様子をHPIに掲載して学校での取り組みを保護者・地域に公開した。 ・地域の方々の協力を得て、田植え・稲刈り体験や俳句教室・案山子づくり体験・わらざり作り体験等を校内で開催し、交流を深めた。 ・上記の活動を協働意識をもって取り組めるよう事前打ち合わせや事後の反省を綿密に行なった。
取組の成果と課題(評価結果C)	・全国や県に比べても、無回答率が非常に低く、最後まで問題に取り組む姿勢が身についた。 ・授業で「学びあい」の場が多く取り入れられるようになり児童の主体的活動が活発になってきた。 ・毎週の「うちどく」では非常に積極的な児童が増え、読書に親しむ習慣を身に付けた児童が増加した。 ・県学習到達度調査では県平均を上回れない学年もあった。	・遠足等の縦割り活動では、上級生が下級生の世話が立派にできるようになった。 ・インターネットやSNSの普及に伴う人権学習を専門家に依頼し、保護者や児童に講演・授業してもらい意識喚起が行えた。	・基礎的な運動の仕方について練習することにより、昨年度以上に、体力テストで大きく全国平均を上回り児童の自信になった。 ・生活習慣も身についている。 ・本校の取り組みが評価され令和元年度和歌山県学校歯科保健最優良校に認定された。	・全学級で地域の方々との交流授業を実施し、交流を深めることにより、学校と地域の連携がさらによくなった。 ・頻繁に情報を発信することにより、地域の方々にも学校の様子を知ってもらうことができた。指標はクリアしているものの、さらに高めたい。 ・時間設定や進め方など交流の仕方についてまだまだ改善の余地がある。
改善方法(A)	・これまで以上に、授業に児童の「学びあい」の場をより多く設ける。 ・難問クイズでは、もっと多くの児童が考え、表現する場として積極的に参加できるよう工夫したい。 ・「うちどく」表彰を継続し、より読書習慣を高めていきたい。 ・外に向けての公開授業を増やし、広く意見を取り入れたい。	・「縦割り活動」や「みんな遊び」を実施して、より良い学級の雰囲気作りに努める。 ・特別な教科道徳について「考える道徳」の効果的な学習についてさらに研究を深める。	・「フッ化物洗口」を継続して行い、児童の歯の健康の増進を図る。 ・基礎の運動についてさらに研究し、児童の基礎運動力を高めたい。	・来年度はさらに、地域の方々や山東まちづくり会との交流を増やし、子ども達に様々な実体験をさせたい。 ・本年度の活動を生かし、よりよい形で継続するとともに、新しい形での交流の仕方を考えていきたい。

3 その他の課題

・校舎や学校設備の老朽化のため、ドアの開閉、教室の照明の不具合が多発する。また、その都度、修繕しても、設備そのものが劣化しているため、根本的な解決になっていない。
・体育館の外壁の劣化や汚れが目立つ。
・カウンセリングができる場所の確保や万ークラス増設の場合の教室の確保が困難である。
・通学路についても、狭いところや車の交通量が多い箇所もあり、民生・児童委員、育友会、学校職員等が定期的に通学路に立ち、児童の安全の確保を図っている。困難ではあると思うが、道路の拡幅や、それに伴う、歩道の設置が必要な箇所がある。

